

教師も「学ぶ」夏休み

本校では、夏季休業中に様々な「校内研修会」を行い、教職員の実践的指導力向上に努めています。



下の写真は、そのうちの一つ『生徒指導』についての内容です。

傾聴の重要性について理解を深めるために、2人一組になって体験活動を行いました。



「拒否的・受容的な聴き方」のそれぞれを実際に体験しました。

「受容的」な態度で相手の話を聴くと、自然に両者の表情が和みました。

受講者は、『教育相談の時に生かしたい』という感想をもちました。





本研修の講師は、学校長が行いました。

ご自身の経験談も交え、具体的事例が多く取り上げられた内容でした。



「多面的・多角的」に生徒を理解することの重要性について気付くために、スライド画が何を表しているのか考えているところです。「あれっ?!」「へえ〜」などの声が聞こえました。

受講者は、「自己指導能力」「生徒指導の3つの留意点」「アドラー心理学の勇気づけ」などについて体験的に学ぶことができました。

なお、本校では夏季休業中に、次の内容についても校内研修を実施し、教職員の自己研鑽に役立たせています。

- 学力向上
- ICT 推進教育
- 道徳教育
- 特別支援教育 など